

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



HELP-AからのTakeaways

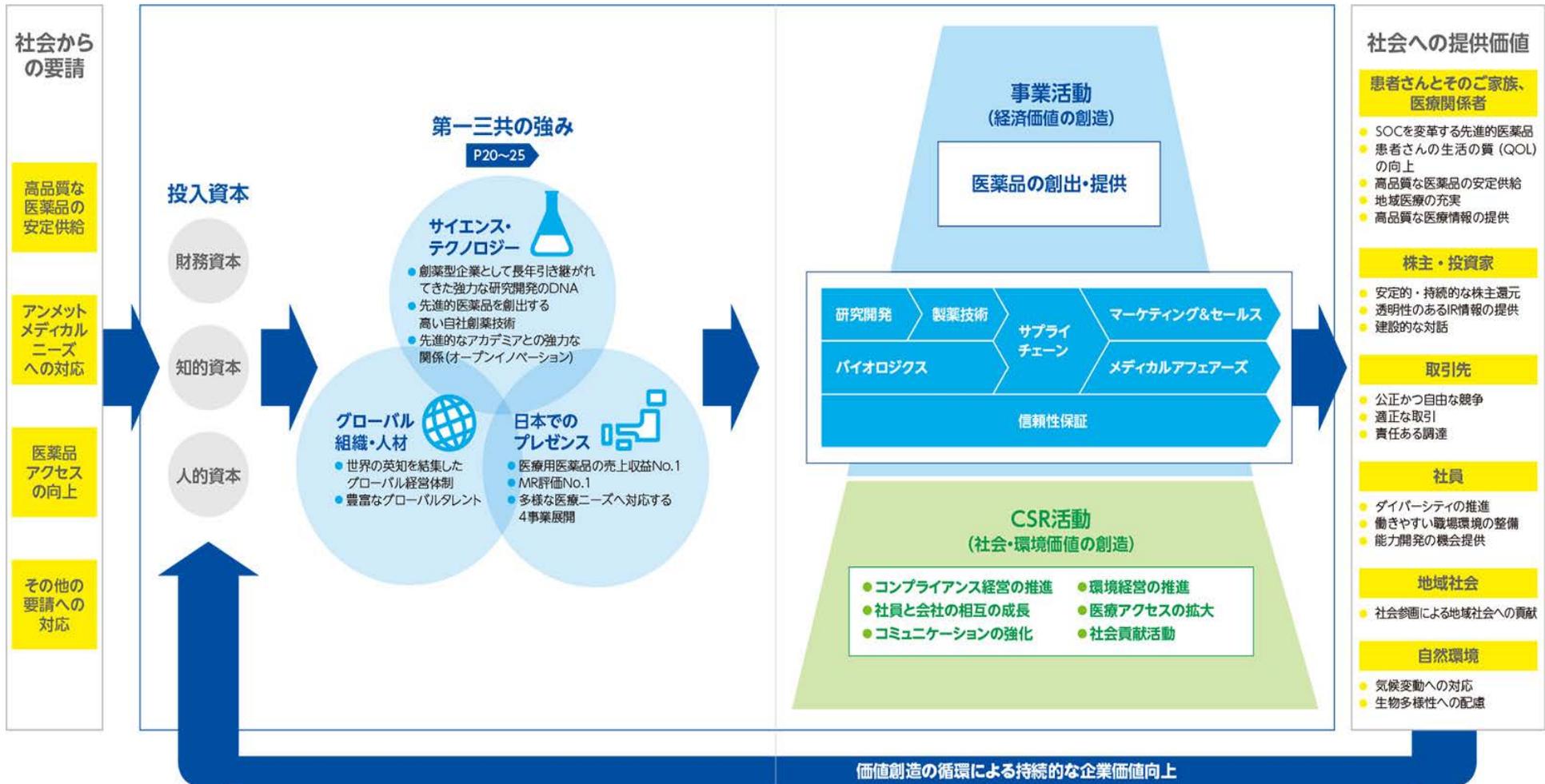
第一三共株式会社
齋 寿明

2019年3月23日

- 一橋大学へのアクセス
- 異業種のメインプレイヤーとのネットワーク
- 気づき：
株主との対話・エンゲージメントのあり方

当社の事業価値創造プロセス (Summary : 全体像)

当社グループ バリューレポート



NIKKEI Annual Report Awards 2018 (日経アニュアルリポートアワード2018) 優秀賞の一社に選定

- グランプリ：1社
- 準グランプリ：3社
- 特別賞：2社
- 優秀賞：15社

112社参加、アナリスト・機関投資家120名による評価

- コメント／改善点
 - 専門的すぎて理解が難しい
 - 財務データは充実しているが、自己分析がない
 - 株主価値（ROE）向上策の具体性が薄い
- 事業活動とCSRの一体感が薄い
- CSRマネジメントが網羅的であり、重要なKPIの開示が不足している
- ガバナンスについて、取締役会の運営状況などのより具体的な開示が欲しい
- 事業戦略とESGの関連性の説明が弱い
- 経営指標・ESG指標などにおけるKPIが不十分

当社の価値創造プロセスの評価

価値観

ビジネス
モデル

維持可能性
・ 成長性

戦略

成果と
KPI

ガバ
ナンス

事業環境、外部環境への認識

3.1 ESGに対する認識

3.2 主要なステークホルダーとの
関係性の維持

特に長期投資家を中心とするESG評価を認識することにより新たな戦略構築に繋げる

持続可能性 (Sustainability)

SDGs

企業の社会的責任
(CSR)

責任投資原則
(PRI*)

企業

ESG投資

投資家

ソフト・ロー

コーポレートガバナンス・コード

スチュワードシップ・コード

法規制

- 投資家（社会の要求、外部の目）による投資判断の評価の視点
- 投資家とのコミュニケーション言語
- より具体的なKPIが必要



- ◆ ESG経営体制が構築されているか？
- ◆ 開示が十分かどうか？

- 「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」
 - ✓ PL重視経営からCF経営
 - ✓ 中期計画のあり方
- ESG推進体制の強化
 - ✓ 非財務情報の積極開示
 - ✓ ESG（サステナビリティ）推進機能の設置
- CSR課題とガバナンスを踏まえた統合マテリアリティの明確化

当社の事業価値創造プロセス (Summary : 全体像)

2025年ビジョン：
「がんに強みを持つ先進的グローバル製薬企業」

